

# 草原再生を支える社会システムの分析

徳島大学 大学院 工学研究科 小串重治



# 草原再生を支える社会システムの分析

- 『我が国の草原をとりまく現状と課題』
- ヒアリング調査・類型化を通じた草原再生を実現している地区の特徴抽出
- 里山再生の実現に向けて提案  
……東祖谷山の教訓を踏まえて……

## 『我が国の草原をとりまく現状と課題』

保存  
あるいは放置

過度な人為影響

開発

~1960年代

1960年代まで、日本各地で草原は人為管理より維持されてきた




ススキ草原 → ササ → 低木 → ウラジロモミ, ダケカンバ, ミズナラ, プナ

草原は人が関わって、はじめて、草原として維持される

## 草原の供給サービスに価値が見出されていた……

肥料  
放牧の場  
茅葺き屋根の材料  
山菜の採取, 狩猟の場



## 適切に管理された草原は文化的サービスも提供していた



雄大な草原景観



キキョウ



オミナエシ

生物多様性保全の場

草原の管理作業を通じた地域固有の文化伝承

## 1960年代以降……日本各地で起こった現象

放牧地の利用価値の低下

化学肥料の投入に伴う採草利用価値の低下

農林・農用地開発・土地利用形態の畜化

明治・大正期  
国土の10%程度  
国土の1%まで減少

国立・国定公園で開発が回避され維持されてきた

管理放棄

ススキ草原 → ササ → 低木 → ウラジロモミ, ダケカンバ, ミズナラ, プナ

国立・国定公園内でさえ、草原は激減!!生物相は劣化!!

**草原生態系の供給サービスに価値が見出されない**

~~肥料  
放牧の場  
茅葺き屋根の材料  
山菜の採取、狩猟の場~~



**管理放棄 文化サービスは提供されない**

~~雄大な草原景観~~



~~キキョウ オミナエシ  
生物多様性保全の場~~



~~草原の管理作業を通じた地域固有の文化伝承~~

**草原再生の実現に不可欠な検討**

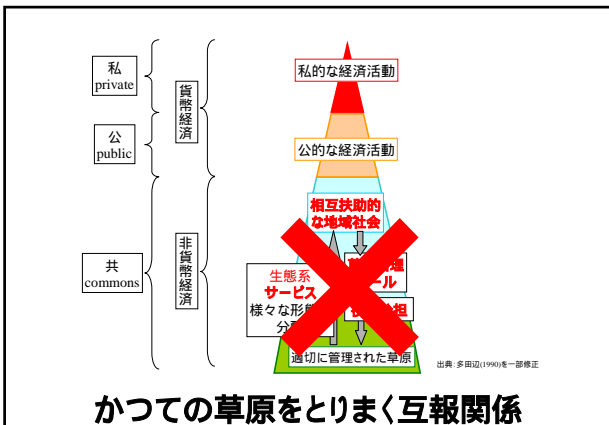
**生態学的なリスク評価・再生技術体系の確立**

- 草原の管理放棄に伴う草原の消失
- 草原の管理放棄に伴う生物多様性の劣化

**草原再生を支える社会システムの再構築**

- 草原再生を支える社会システムの分析

草原再生を実現している  
10地区の特徴抽出  
～ヒアリング調査・類型化を通じて～




**調査方法**

ヒアリング内容

1. 草原は地域社会においてどのように認識されてきたか?
2. 草原の管理作業を誰が担ってきたか?
3. どういった管理形態で行われているか?
4. 管理作業を担っている関係者は、草原再生にどういった価値を見出しているのか?

ヒアリング対象

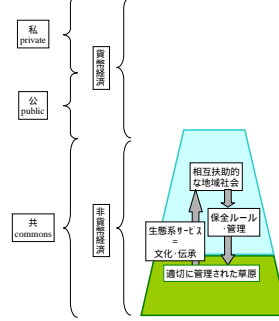
- ・管理作業を担っている関係者・関連する行政担当者



## 4グループに類型化できた

1. 伝統的共的生態系サービス維持タイプ
2. 自立経済・経営タイプ
3. 公的支援依存タイプ
4. 新規共的生態系サービス調整タイプ

### 伝統的共的生態系サービス維持タイプ



蒜山高原(岡山県)・深入山(広島県)

草原の認識	共的・公的コモンズとして認識
草原管理の担い手	地域コミュニティ
草原の管理形態	地域コミュニティによる共同管理
見出している価値	非経済利益 経済利益 私的利益 公的利益

課題: 過疎化・高齢化に伴う後継者不足

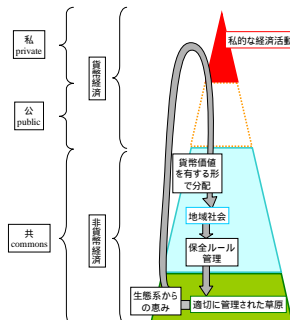


蒜山高原: 1960年代前半



蒜山高原: 2005年1月

### 自立経済・経営タイプ



曾爾高原(奈良県)・岩湧山(大阪府)

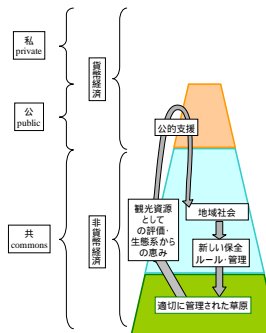
草原の認識	共的・公的コモンズとして認識
草原管理の担い手	地域コミュニティ
草原の管理形態	地域コミュニティによる共同管理
見出している価値	非経済利益 経済利益 私的利益 公的利益

課題: 自立経済・経営の持続性の確保



曾爾高原

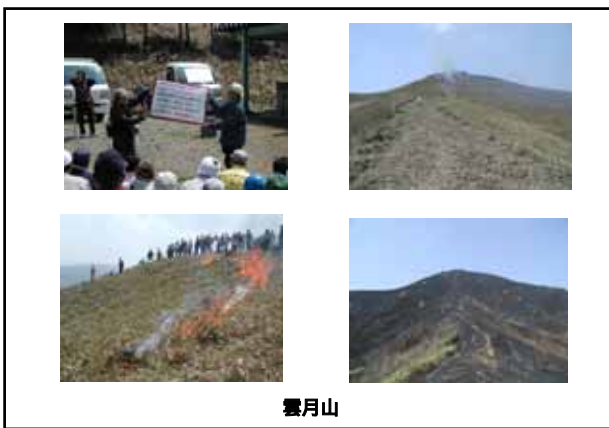
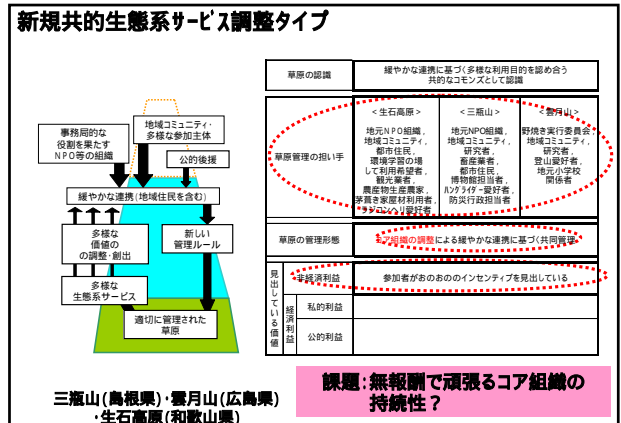
### 公的支援依存タイプ



秋吉台(山口県)・砥輪高原(兵庫県)・塩塚高原(徳島県)

草原の認識	観光資源・公的・公的コモンズとして認識
草原管理の担い手	地域コミュニティ
草原の管理形態	公的支援に基づく共同管理
見出している価値	非経済利益 経済利益 私的利益 公的利益

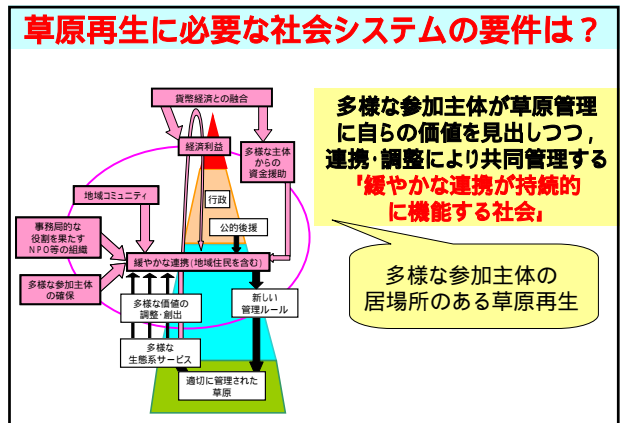
課題: 過疎化・高齢化に伴う後継者不足・行政の負担



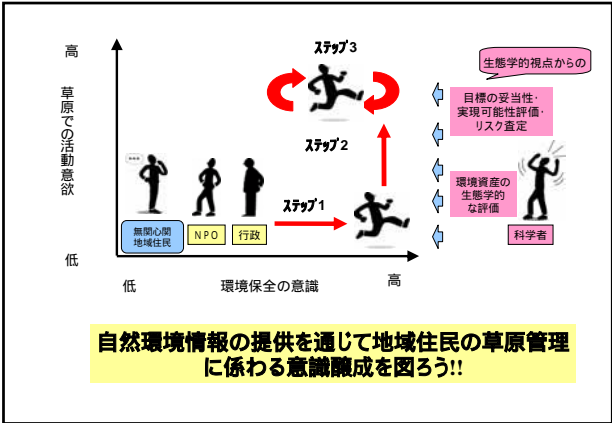
## 草原再生に必要な社会システムに関するまとめ

	1 共的生態系サービス調整タイプ		2 公共的調整タイプ		4 新規共的生態系サービス調整タイプ				
	三瓶山(和歌山)	雲月山(広島)	砥峰高原(鳥根)	秋吉台(福岡)	生石高原(和歌山)	三瓶山(鳥根)	雲月山(広島)		
草原に関する認識	伝統的な共的コモンズとして認識		観光資源として認識	緩やかな連携に基づき(多様な利用目的を認め合う)共的なコモンズとして認識					
草原管理の担い手	地域コミュニティ		地域コミュニティ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">                     &lt;生石高原&gt;                      地元NPO組織、地域コミュニティ、都市住民、遺跡学芸の増して利用促進者、観光業者、農業物生産農家、茅葺き家屋材利用者、マジコンハウ開発者                 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">                     &lt;三瓶山&gt;                      地元NPO組織、地域コミュニティ、研究家、産産業者、登山愛好者、地元小学校関係者                 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">                     &lt;雲月山&gt;                      野焼き実行委員会、地域コミュニティ、研究家、登山愛好者、地元小学校関係者                 </td> </tr> </table>			<生石高原> 地元NPO組織、地域コミュニティ、都市住民、遺跡学芸の増して利用促進者、観光業者、農業物生産農家、茅葺き家屋材利用者、マジコンハウ開発者	<三瓶山> 地元NPO組織、地域コミュニティ、研究家、産産業者、登山愛好者、地元小学校関係者	<雲月山> 野焼き実行委員会、地域コミュニティ、研究家、登山愛好者、地元小学校関係者
<生石高原> 地元NPO組織、地域コミュニティ、都市住民、遺跡学芸の増して利用促進者、観光業者、農業物生産農家、茅葺き家屋材利用者、マジコンハウ開発者	<三瓶山> 地元NPO組織、地域コミュニティ、研究家、産産業者、登山愛好者、地元小学校関係者	<雲月山> 野焼き実行委員会、地域コミュニティ、研究家、登山愛好者、地元小学校関係者							
草原の管理形態	地域コミュニティによる共同管理		公的支援に基づく共同管理	コア組織の調整による緩やかな連携に基づく(共同管理)					
見出している価値	単経済利益	集落行事として実行している		参加者がおのおのの価値を見出している					
	私的利益	(茅葺き材料)							
	公的利益	(作業委託費)	(作業委託費)						

課題 後継者不足 安定経営？ 後継者不足 財政支援？ 後継者不足 コア組織の持続性？



里地・里山再生の実現に向けて提案  
 ……東祖谷山の教訓を踏まえて……



これまでの主な取り組み

「落合峠 = 環境資産と認識」  
 「落合峠を生かした地域づくりに向けて課題の認識」

1. ヒアリング調査を通じた情報発信
2. 自然観察会の開催
3. 平家祭での調査成果発表
4. 広報での通知 研究成果発表会の開催
5. 地元中学校総合学習での研究成果の発表

